

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子

です



事務所 中延2-11-7
日本共産党品川地区委員会
日本共産党区議団控え室

Tel.3783-8833
Tel.3785-2810
Tel.5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

日本共産党 鈴木ひろ子事務所・旗の台と中延地域の

「原発いらないパレード」

「放射能から子どもを守ろう！」
「自然エネルギーに変えよう！」 沿道にアピール



10月16日(日)の午後、鈴木ひろ子地域で「原発いらないパレード」を行い、80人が参加しました。旗の台商店街から仲通り、昭和通り商店街から東中延公園まで約1時間、「原発いらない!」「放射能から子どもを守ろう!」とアピール。沿道からたくさんの方が手を振ったり、声がかかりました。

「原発いらないパレード」 80人が参加

日本共産党・鈴木ひろ子事務所では、10月16日(日)、「原発いらないパレード」を行いました。

小さい2人の子どものさんをつれて参加した看護師さん、娘さんに車イスを押ししてもらい全行程参加された高齢の方、20代の青年、街でチラシをもらっ

たと参加された方、歩くのはできないけど沿道で手を振ることなら参加された方など80人の参加で、にぎやかに商店街や沿道にアピールしました。

「原発いらない!」「自然エネルギーに変えよう!」「放射能から子どもを守ろう!」シュプレヒコールが街に響き渡りました。

店の奥から出てきて声援を送ってくれた店主さん、マンションの窓から家族総出で手を振る方、子どもを連れて家から出てきて手を振る方、「がんばれ」と声をかける方など大きな反響でした。子どもを守る対策、原発撤退に、これからも一緒に声をあげていきましょう。

鈴木ひろ子が本会議質問 「放射能汚染から子どもと国民の命と健康を守る対策を」

9月22日の区議会本会議質問で、私・鈴木ひろ子は放射能汚染対策を求める質問を行いました。広島原爆の20個分の放射性物質を撒き散らしたと言われる今回の原発事故、放射能汚染への不安は広がるばかりです。

特に、放射能への感受性が高い子どもたちの命と健康を守ることは日本社会に問われる重大問題です。

私は、具体的に以下のことを求めました

①「ホットスポット」になりやすい場所をきめ細かく、系統的に測定し、放射能汚染の全体的な実態を把握すること。汚染が高いところがあれば、直ちに除染を行うこと。

②内部被爆を抑えるため、都に検査体制の強化を求めるとともに、区が食品検査機器を購入し検査体制をつくり測定すること。国に対して、暫定基準値を超える食品を絶対市場に出さない仕組みをつくる、暫定基準の検証、見直しを行うよう求めること。

しかし区は、「ホットスポット探しのような風評被害を撒き散らすようなことを行政自らが行う考えはない」「流通しているものは安全なもの」との答弁でした。

小さい子どもさんを抱っこし、傍聴されていたお母さん方から怒りの声が出されました。区はお母さん方の不安の声に応えるべきです。私は、これからも対策に向け全力で取り組みます。

五反田駅 地下鉄とJR

乗りかえ通路の屋根が完成



五反田駅の地下鉄とJRの乗りかえ通路の屋根がついに完成しました。

中延4丁目の方から「雨が降るたび傘をささなければならぬ。何とかならないか」とのご相談を受け、五反田を担当している安藤元区議と一緒に署名の取り組みを行いました。中延地下鉄駅前で署名の訴えをすると、「前からそう思っていた」「ここに屋根があるといいよね」など大きな反響。2ヶ月で署名の数は723人分。

国会議員団事務所長を通じて2週間前に要請文を送り、7月に署名を手渡し、JRに要請。当日は、品川区議（鈴木、飯沼、中塚）、

八潮、杜松小学校跡に続いて 平塚橋会館に特養ホームの 整備を表明

品川区は今議会で「特養ホームの整備は区にとっても重要な課題と認識」「平塚橋会館について、前向きに検討する」と平塚橋会館への特養ホーム整備の方向を表明しました。

これは、これまで8年間・17回にわたる特養ホームの増設を求めたことによるものです。
(詳しくは次号でお知らせします)

無料

法律・生活相談会

10月24日(月)

午後6:00~

鈴木ひろ子事務所

中延2-11-7 3783-8833

弁護士さんが対応します。お気軽にご相談ください。

可知佳代子都議、安藤泰作元区議、秋田かくお元都議も一緒に交渉。その場でJRから「今年度中に設置したい」と回答を得ました。早速、9月に着工、末には完成となりました。こんなに早く実現し、本当に良かったと思います。
「傘をささなくてすむようになつて本当に良かった」何人もの方から喜びの声よせられています。